



西東京市一店逸品事業



逸品ゼミナール 西東京市産の小麦粉で作る！ 簡単クッキー

一店逸品事業の認定商品取扱店の店主が講師となり、その技術や知識、商品の魅力をお伝えします。

時 3月1日(水) 午前10時30分～午後0時30分

場 消費者センター分館

内 西東京市産の小麦粉を使ったクッキーおよび家庭で手に入る材料で簡単

にできるカスタードクリームづくり

定 10人

講 菓子工房KIQCHI(東町)

持 エプロン・三角巾・手拭き用タオル・筆記用具

申 2月27日(月)までに、電話で問へ

問 西東京商工会(☎042-461-4573)

HP <http://www.ittenippin.com/>

◆産業振興課保(☎042-438-4041)

高齢者の見守り協力員 養成研修

ささえあいメール見守り協力員

活動内容 市内で一人暮らしをする高齢者へのメールによる見守り

時 2月24日(金)午後2時～4時30分

定 20人(申込順)

申 2月20日(月)までに、電話・ファクスで住所・氏名・電話番号を高齢者支援課へ

共通 場 田無総合福祉センター

対 市内在住の方

持 年齢確認書類(保険証など)・認め印

ささえあい訪問協力員

活動内容 市内で一人暮らしをする高齢者の見守り

時 3月9日(水)午後1時～4時10分

申 3月8日(火)までに、電話・ファクス・Eメールで住所・氏名・電話番号を問へ

問 西東京市地域サポート「りんく」

(☎042-497-4163・FAX 042-497-4164・✉seikatsu@n-csw.or.jp)

◆高齢者支援課保(☎042-438-4029)

みんなの 伝言板

※特に記載のないものは、無料です。
※内容についてのお問い合わせは、各サークルへお願いします。

「みんなの伝言板」(サークル紹介)は、個人情報が含まれているため、削除してあります。

大好きです
西東京

市内の情報をお届けします

街道を行く編

ふるさと
発見!
15

第8回 田無の道(歌碑)

西東京市中央図書館前に歌碑があるのをご存じでしょうか。田無小学校の前身「田無学校」の開校を端緒とした、田無の教育100年と中央図書館の開館を記念して、昭和50年(1975年)に建てられたものです。黒御影石に刻まれているのは昭和24年に発表された「田無の道」という歌の抜粋で、作者は釈道空、本名を折口信夫という明治生まれの著名な歌人・国文学・民俗学者です。

折口は、東久留米市にある自由学園を開いた羽仁もと子と親交があり、講演を行うなど、たびたび学園を訪れました。その際、田無を通る車中から詠んだ歌がこの歌だと思われます。歌の中には、まだ道路の舗装など人の手のあまり入っていない、往時の西東京市周辺の豊かな自然の美しさや暮らしが詠まれています。

と呼ばれて栄えました。田無用水など、水の道である用水路により土地は潤い新田開発とともに江戸と結ばれる新しい街道も整えられました。

大正時代、新たな道となる鉄道が招聘され、近郊農村として発展した保谷には、渋沢敬三らが夢を描いた日本初の野外博物館である「民族学博物館」が作られました。

戦前戦中には軍事工場で働く多くの人々を運んだ道、戦後は、庶民の夢を育んだひばりヶ丘団地に代表されるベッドタウンと都心を結んだ道など、道は西東京の歴史を紡いできました。

今、私たちが目にする西東京市の道や風景はどんな歌に詠むことができるのでしょうか。折口はこうも詠んでいます。

おぼろ 暮れ行く時と
神すらも 道にたゞずむ
道のべの 道祖の神

車やる田無の村
青霞 道に立ちつゝ
風ふけば、山に靡けり

深藪に鶯鳴き
藪の枝 道に出て散る一
合歡の花清きゆふべを
我ひとり 遠く乗り来ぬ

赤土路のぬかれる上に
踏み脱ぎて行きし 藁沓
牛の仔の沓の あはれさ

先史の時代、旧石器人は赤土の台地を闊歩し、下野谷遺跡に住んだ縄文人は石神井川を遠くのムラとの交流の道として使っていました。弥生時代以降は、道らしき道もない武蔵野の荒れ野が広がっていましたが、鎌倉時代になると地下水の浅い場所に集落ができ、横山道などの古道が開通しました。

江戸時代になり、幕府が人と物資の流通のため通した青梅街道には各地からの道が交わり、田無宿は八方の継場

時代が変わった今も当時と同じように道端にはお地藏さんや庚申様が佇み、手を合わす方の姿も見受けられます。

舗装され便利になった道、そして新しく作られるに道はこれからどんな人や夢を西東京市に運び、また西東京市から運んでいくのでしょうか。

道が紡ぐ西東京市の物語はこれからもずっと続いていきます。

◆社会教育課保(☎042-438-4079)



中央図書館前に建つ「田無の道」歌碑

多摩六都科学館ナビ



ロフトサイエンスレクチャー 電波でせまる天の川銀河と巨大ブラックホール

内 宇宙からの電波を観測することで、私たちの住む銀河系の姿が見えてきました。そして銀河系の中心部に潜む巨大なブラックホールも…。プラネタリウムで最新天文学のお話をします(高校生相当の内容を予定)。

時 3月25日(土)午後5時10分～6時40分

対 小学5年生以上 ※対象者以外の参加・同伴不可

定 150人

講 本間希樹さん(国立天文台水沢VLBI観測所所長 教授)

¥ 入館料大人500円(高校生以下の当イベント参加者は入館料無料)

申 3月13日(月)(必着)までに、問のHPからまたははがきで開催日・イベント名・住所・氏名・年齢(学年)・電話番号を問へ

問 多摩六都科学館

(〒188-0014芝久保町5-10-64・☎042-469-6100)月曜日休館

